

香取広域市町村圏事務組合消防職員の服制に関する規則

平成18年3月27日

規則第18号

改正 平成18年10月25日規則第28号

平成21年2月24日規則第3号

平成22年12月10日規則第9号

平成26年8月1日規則第3号

平成29年11月20日規則第2号

令和4年2月25日規則第3号

令和5年2月27日規則第1号

令和7年1月22日規則第3号

(趣旨)

第1条 この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第16条第2項の規定に基づき、香取広域市町村圏事務組合消防職員（「以下職員」とする。）の服制について定めるものとする。

(製式)

第2条 職員の服制は、別表のとおりとする。

(その他)

第3条 この規則に定めるもののほか、職員の服制に関し必要な事項は、消防長が定める。

附 則

この規則は、平成18年3月27日から施行する。

附 則（平成18年10月25日規則第28号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成21年2月24日規則第3号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成22年12月10日規則第9号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成26年8月1日規則第3号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成29年11月20日規則第2号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（令和4年2月25日規則第3号）

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則（令和5年2月27日規則第1号）

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則（令和7年1月22日規則第3号）

この規則は、公布の日から施行する。

別表（第2条）

冬 帽	色及び地質		濃紺色の毛織物とする。
	製式	男性	円形とし、前ひさし及びあごひもは、黒色とする。あごひもの両端は、帽の両側において金色金属製消防章各1個でとめる。形状は、図のとおりとする。
		女性	円形つば型（ハイバック）とする。形状は、図のとおりとする。
	き章		銀色金属製消防章をモール製金色桜で抱擁する。台地は、地質と同様とする。形状及び寸法は、図のとおりとする。
	周章		帽の腰まわりには、黒色のななこ織を巻き、消防司令以上の場合には、じゃ腹組金線及びじゃ腹組黒色線を、消防司令補の場合には、じゃ腹組黒色線を巻くものとする。形状及び寸法は、図のとおりとする。
夏 帽	色及び地質		青色の合成繊維の織物とする。
	製式	男性	円形とし、前ひさし及びあごひもは、紺色とする。あごひもの両端は、帽の両側において金色金属製消防章各1個でとめる。天井と腰枠間のマチ部分をメッシュとする。すべり革には、所要の通風口をつける。天井の内側には、汚損よけをつける。形状は、冬帽と同様とする。
		女性	冬帽と同様とする。
	き章		冬帽と同様とする。台地は、地質と同様とする。
	周章		帽の腰まわりには、地質と類似色のななこ織を巻くものとする。
ア ポ ロ キ ャ ッ プ	色及び地質		濃紺色の合成繊維の織物とする。
	製式		天井にはと目を設け、通気性を確保する。前ひさしは、地質と同じものとし、金色のししゅうを施す。帽体の後部にスライダー付きアジャスターを取付けるものとする。形状は、図のとおりとする。
	き章		前面中央にししゅうを施す。形状は、図のとおりとする。
保 安 帽	地質		強化合成樹脂又は堅ろうな材質とする。
	製式		円形とし、内部に頭部の振動を防ぐ装置をつける。あごひもは、合成繊維とする。形状は、図のとおりとする。
	き章		形状は、図のとおりとする。

	周章	帽の腰まわりに赤の反射線をつける。		
		形状及び寸法は、図のとおりとする。		
冬服	上衣	色及び地質		冬帽と同様とする。
		前面	男性	折りえりとする。胸部は、二重とし、消防章をつけた金色金属製ボタン各3個を2行につける。左胸部に1個、腰部に左右各1個のポケットをつけ、腰部の左右のポケットには、ふたをつける。右そで上部にエンブレムをつける。 形状は、図のとおりとする。
			女性	打合せを右上前とするほかは、男性冬服と同様とする。
		階級章		黒の台地とし、上下両縁に金色ししゅう状を施し、中央に平織金線及び銀色消防章をつける。階級章（モール製又は金属製）は、右胸部につける。ただし、消防長の職にある者は、これをつけないことができる。 形状及び寸法は、図のとおりとする。
		消防長章		銀色の台地とし、金色線3条及び黒色線2条を配し、中央に、いぶし銀色の桜葉及び銀みがきの桜花で囲んだはめ込みの金色消防章を配する。消防長章は、階級章の上部につける。 形状及び寸法は、図のとおりとする。
	そで章		黒色しま織線1条に消防司令補以上は、じゃ腹組金線1条を消防士長は、じゃ腹組銀線1条を表半分にとり、その下部に消防司令以上の場合には、金色金属製消防章をつける。 形状及び寸法は、図のとおりとする。	
	ズボン	色及び地質		上衣と同様とする。
		製式		長ズボンとし、両ももに各1個のポケットをつけ、後方右側に1個のふた付きポケットをつける。 形状は、図のとおりとする。
	スカート	色及び地質		上衣と同様とする。
		製式		セミタイト型とする。後面センターにスリットを付ける。 形状は、図のとおりとする。
夏服	上衣	色及び地質		淡青色の合成繊維の織物とする。
		前面	男性	シャツカラーの長そで又は半そでとし、地質と類似色の6つボタ掛けとし、えり裏にズボンと同素材の織物をつける。 胸部左右に各1個の雨蓋付ポケットをつける。 形状は、図のとおりとする。
			女性	打合せを右上前とするほかは、男性夏服と同様とする。
		肩章		外側の端を肩の縫目に縫い込み、えり側を地質と類似色のボタン1個でとめる。
	そで		長そでは、カフス付きボタンとめとする。 長そで、半そでともに、そでろうらにズボンと同素材の織物をつける。 右そで上部にエンブレムをつける。 形状は、図のとおりとする。	
ズボン	色及び地質		淡紺色の合成繊維の織物とする。	
	製式		長ズボンとし、両もも及び後方に各1個のポケットをつけ、後方左	

			側はボタンとめとする。	
活動服	上衣	色及び地質	青色の合成繊維で難燃性のものとし、綾織又は平織りとする。えり、肩及び背面上部にオレンジ色を配する。	
		製式	長そでとし、地質と類似色の前合せファスナーをつける。そで口をファスナー式とする。胸部左右に各1個のポケット（拝みひだ・ふたつき）及び左肩下にペン差しをつける。背面上部にKATOR I F. D. と表示する。 形状は、図のとおりとする。	
	ズボン	色及び地質	上衣と同様とする。	
		製式	夏服下衣と同様とする。 形状は、図のとおりとする。	
救助服	上衣	色及び地質	オレンジ色の合成繊維で難燃性のものとする。	
		製式	開きんの長そでとし、胸部左右に各1個のポケットをつける。そで口はファスナー式とする。背面上部に香取消防KATOR I F. D. と表示する。形状は、図のとおりとし、図中二重斜線の部分は当て地とする。胸部左側に香取特別救助隊と黒文字刺しゅうをする。肩章は、外側の端を肩の縫目に縫い込み、えり側を地質と類似色のボタン1個でとめる。	
	ズボン	色及び地質	上衣と同様とする。	
		製式	長ズボンとし、両ももの側面に各1個のファスナー式ポケットをつける。形状は、図のとおりとし、図中二重斜線の部分は当て地とする。	
救急服 (冬)	上衣	色及び地質	明るい青みの灰色の織物とする。	
		製式	前面	立体裁縫及び立体裁断とし、地質と類似色の前合せファスナーをつける。台えり付きシャツカラーの長そでとし、そで口をファスナー式とする。比翼仕立てとし、胸部左右に各1個、左肩下に1個のポケットをつけ、胸部左右のポケットには、ふたをつける。胸部左側にKATOR I F. D. とブルー文字にて刺しゅうをいれる。救急救命士ワッペンを右そで上部につける。背面上部に香取広域消防と表示する。形状は、図のとおりとする。
			肩章	外側の端を肩の縫目に縫い込み、えり側を地質と類似色のボタン1個でとめる。
	ズボン	色及び地質	暗い灰色の織物とする。	
		製式	立体裁縫及び立体裁断とする。 長ズボンとし、両もも及び左右後方に各1個のポケットをつける。形状は、図のとおりとする。	
（夏） 救急服	上衣	色及び地質	明るい黄みの灰色の織物とする。	

		製式	長そで又は半そでとし、その他は、救急服（冬）上衣と同様とする。ただし、半そでの場合は、左肩下のポケットをつけないものとする。形状は、図のとおりとする。
	ズボン	色及び地質	救急服（冬）ズボンと同様とする。
		製式	救急服（冬）ズボンと同様とする。
ブルゾン	色及び地質		青色にオレンジ配色を施し、ポリエステルとする。
	製式		折りえりとし、前面は、ファスナー及びホック5個を1行につけ、腹部左右に各1個ふた付きポケット及び左上腕にファスナーポケット及びペン差しをつける。背面には、FIRE DEPARTMENT KATORIとシルバー色にてプリント表示する。形状は、図のとおりとする。
雨衣	色及び地質		黄色の透湿耐水性のある防水布とする。
	製式	上衣	前面は、ファスナー及びホックどめ6個とする。背抜き式でホック4個で開閉できるようにし、通気逆流防止仕様とするとともにメッシュを裏側に施す。腹部左右に各1個のふた付きポケットをつける。そで口前側に調整のためのマジックテープをつける。すそに幅調節のための紐を入れる。背部にKATORI. F. D.と青色にてプリント表示し、シルバーの反射テープをつける。形状は、図のとおりとする。
		ズボン	長ズボンとし、前開きで胴まわりにゴムを縫い込む。すそに幅調節のための紐を入れる。形状は、図のとおりとする。
		フード	形状は、図のとおりとする。
ワイシャツ			白色の織物とする。
ネクタイ			濃紺色の織物とする。
皮手袋			革製又は合成繊維製とする。
防火手袋			革製又は合成繊維製とする。
防火フード			合成繊維製とする。
バンド			冬服夏服用は、黒色の皮製とし、前金具の中央には消防章をつける。救急服用は、白の合成皮とし、前金具の色は銀色、図中斜線部分に白の反射テープをつける。活動服用は青色、救助服用はオレンジ色の合成繊維とし、止め金はピン式とする。形状は、図のとおりとする。
靴			黒の短靴又は編上靴とする。
マタニティ服			濃紺色のワンピース又はツーピース型とする。右胸部に階級章をつける。

図 (数字は、寸法を示し、その単位は、ミリメートルとする。)

冬 帽

女性

男性



き 章

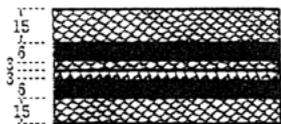
消 防 章



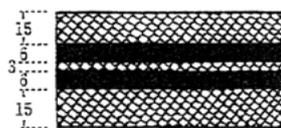
あごひも留め
消防章



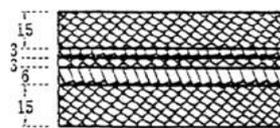
周 章



消 防 司 令



消 防 司 令 補



消 防 正 監

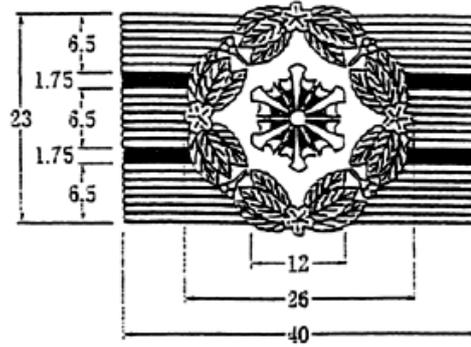


消 防 士 長



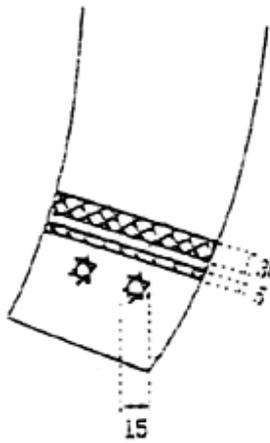
消 防 司 令 長

消防長章

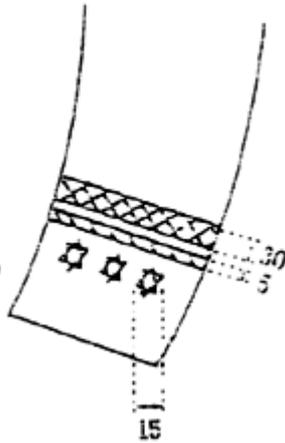


上衣そで章

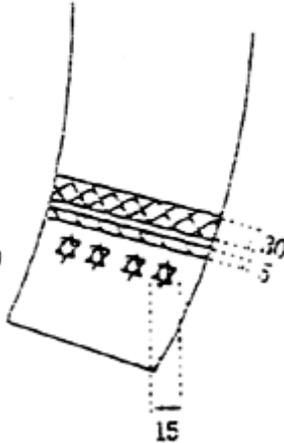
消防司令長



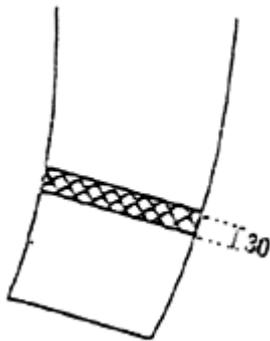
消防監



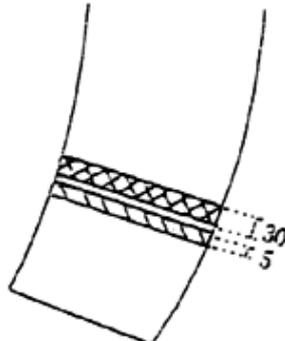
消防正監



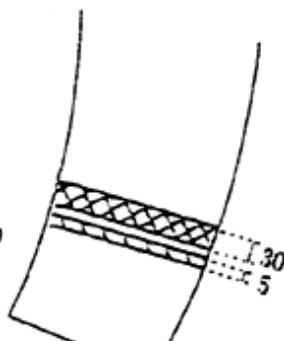
消防副士長
消防士



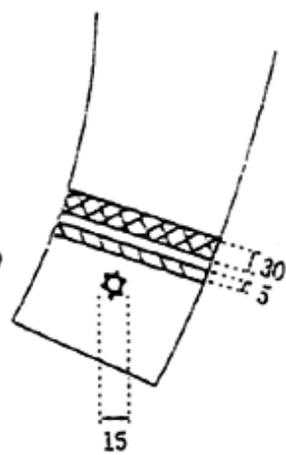
消防士長



消防司令補

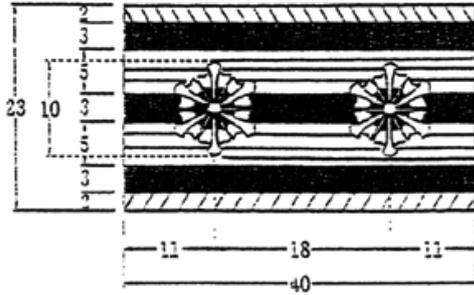


消防司令

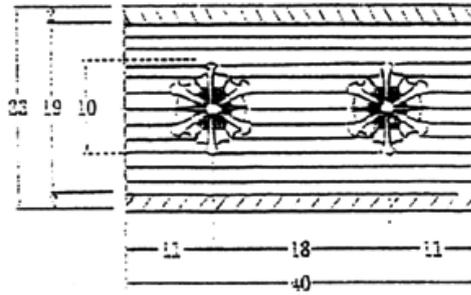


階 級 章

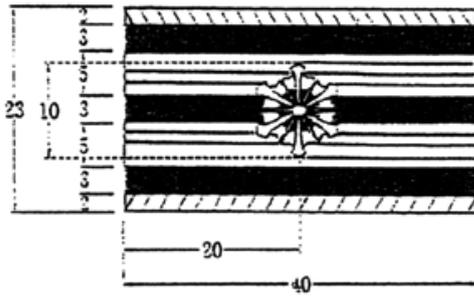
消防司令



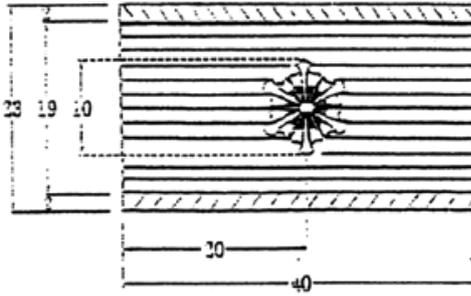
消防正監



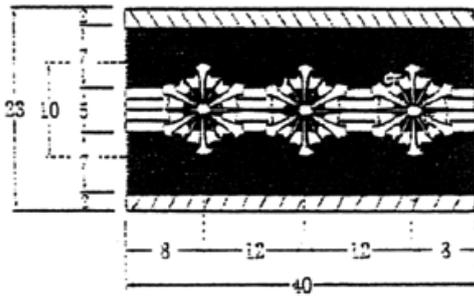
消防司令補



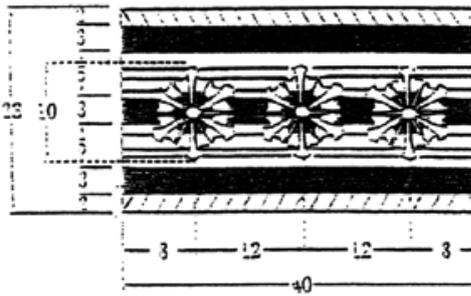
消防監



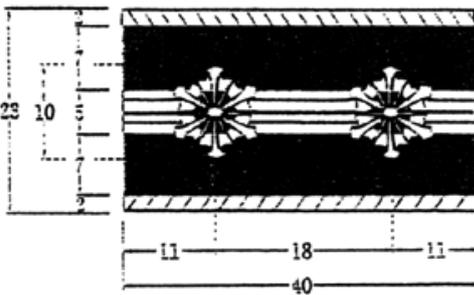
消防士長



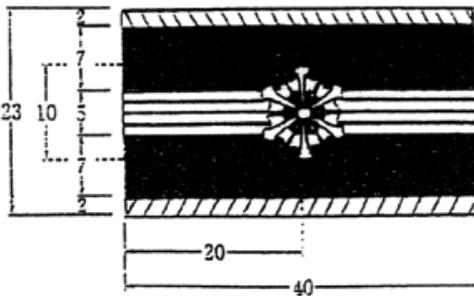
消防司令長



消防副士長



消防士

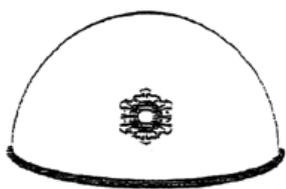


アポロキャップ



保安帽

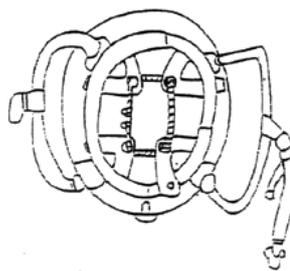
正面



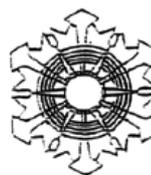
側面



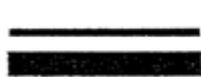
裏面



き章



保安帽につける階級周章

階級	周章	階級	周章
消防士	 4	消防司令	 8 <4> 8
消防副士長	 2 <4> 4	消防司令長	 8 <4> 4 <4> 8
消防士長	 4 <4> 4	消防監	 8 <4> 8 <4> 8
消防司令補	 4 <4> 8	消防正監	 8 <3> 8 <3> 15

冬 服

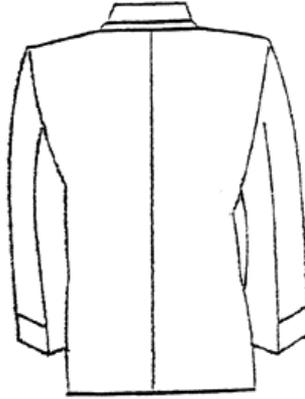
(下 衣)
スカート



ズボン



後 面



(上 衣)

前 面



ボタン

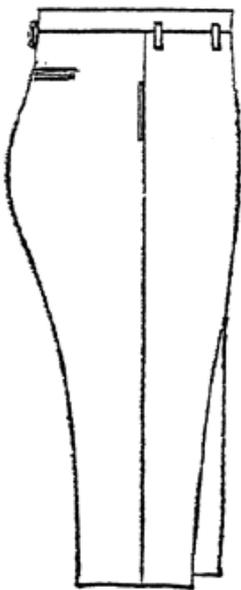


エンブレム

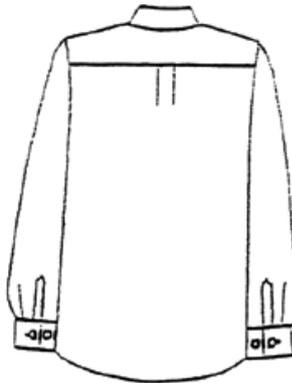


夏 服

下 衣



後 面



(上 衣)

前 面



活動服

後面

(上衣)

前面

ズボン



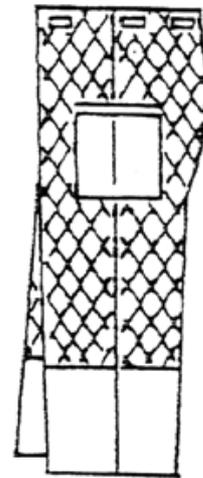
救助服

後面

(上衣)

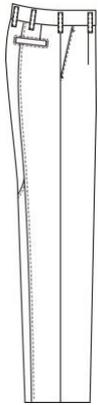
前面

ズボン



救急服冬

ズボン

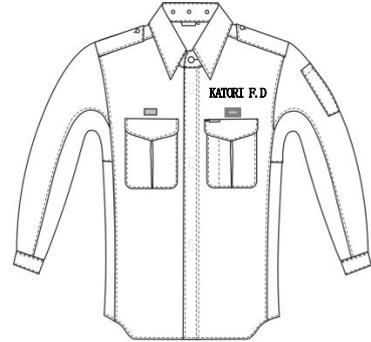


後面



(上衣)

前面



救急救命士
ワッペン



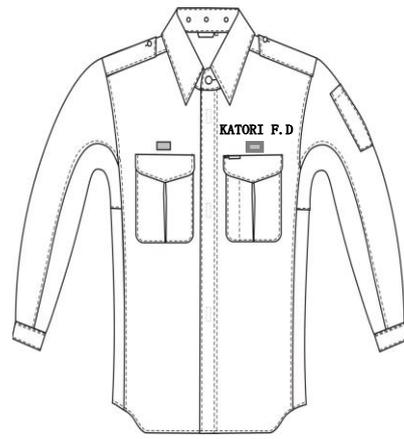
救急服夏

後面



(上衣)

前面

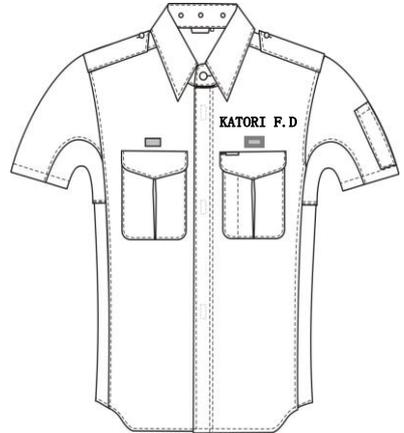


後面



(上衣)

前面

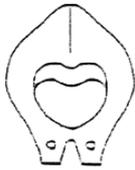


雨 衣

後 面



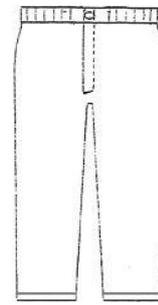
フード



前 面



ズ ボ ン



ブルゾン

前 面

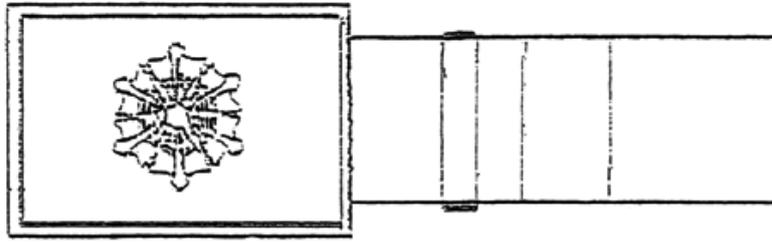


後 面

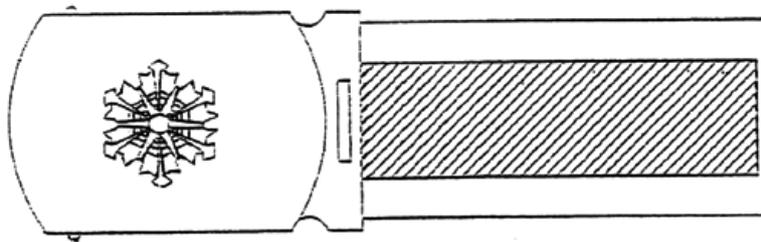


バンド

冬服夏服用バンド



救急服用バンド



活動服用・救助服用バンド

